

# ななくり

The goal of our education is to clear 70 points in total

田迎小学校 学校だより

文責 藤本

第 4 号

2021.07.08



学校教育目標

## 創造性のタネをもち、自律する未来人の育成(その3)

学校教育目標についての3回目です。

### 自律する未来人~Autonomous future people

- ① 自己肯定感…「無条件で自分が好き」
- ② 自己有用感…「自分は誰かの役に立っている」
- ③ 主体性…「自分で決める・見つける・やってみる」
- ④ 道徳性…「ルールとモラル」
- ⑤ 協働性…「コミュニケーションスキル」

③ ~⑤について説明していきたいと思います。

### ③ 主体性…「自分で決める・見つける・やってみる」

#### 【国や社会に対する意識】

	自分は責任がある 社会の一員だと思う	自分で国や社会を 変えられると思う
日本	44.8%	18.3%
インド	92.0%	83.4%
インドネシア	88.0%	68.2%
韓国	74.6%	39.6%
ベトナム	84.8%	47.6%
中国	96.5%	65.6%
イギリス	89.8%	50.7%
アメリカ	88.6%	65.7%
ドイツ	83.4%	45.9%

(2019 年度版 日本財団「18 歳意識調査」より)

「自律心」の中心を占める「主体性」ですが、この調査のように日本人の青年期において、自分が社会や国に働きかけるという意識は高くありません。

幕末の志士のようにみんながみんなそういった意識を持つということは無理にしても、誰かが決めたルールをただ歩くだけのような人生はつまらないものです。

日本人は昔から「石の上にも三年」のようにコツコツ努力することを美德として、ここまで発展してきました。一方、多角的に展開したり、活動の場を複数もったりすることに苦手意識をもつようにもなりました。

また、「過ぎた主体性」によって、自分勝手な行動をとってしまう若者も現れています。

**主体性とは、自分の考えや判断をもとにして実行する性質であり、自分の行動に対する責任もついてきます。**

そのため、「自分がやりたいこと・やらなければならないこと」を**決め**、方法や考えを**見つけ**、自己の責任の下**やってみる**という行動力は、きわめて大切です。

本校では、係活動や行事だけでなく、各教科の授業の中でも、主体性を発揮できるような場をしっかりと設定していきます。

### ④ 道徳性…「ルールとモラル」

みんなが気持ちよく暮らしていく上で必要な「ルール・マナー」「モラル」を大事にすることも自律心には必要です。「**自分の大切さとともに他人の大切さも認めること**」は何よりも重要です。

そのような人権感覚や道徳性を育むために「考え、議論する道徳」の授業を展開します。また、生徒指導面でも「叱る・叱られる」という単純な指導ではなく、「何が原因だったのか」「どうすればよかったのか」「他に方法はなかったか」などしっかりと**考えさせる指導**に力を入れていきます。

### ⑤ 協働性…「コミュニケーションスキル」

PISA2015 に「**協同問題解決能力調査**」という問題が出題されました。「生徒とコンピュータ上の二人の友人がチームでコンテストに参加し、チャットを用いて相談しながら、架空の国であるザンダー国の地理、人口、経済に関する問題に答えていく。」という設定で、タブレット端末を使って答えます。次のような問題が続きます。

チャット上で「3項目を調べていくのに、一番いい方法はどれ？」と尋ねている生徒（仮想）に、もう一人の生徒（仮想）が「とにかく始めようよ」と答えます。

このあと、あなたは何と言いますか。A~D から選べ。

A「他のチームはもう始めたかな」

B「問題が簡単だったらいいのにな」

C「たぶん、初めにやり方を決めた方がいいんじゃないかな？」

D「始めたらわかると思うよ」

<https://www.oecd.org/pisa/>

チームとして効果的に問題解決をしていくのですから、もちろん正解は C です。しかし、各国の平均正答率は 55.7%しかありませんでした。日本の正答率は 72.6%で参加国中 1 位だったのです。(調査対象 15 歳)

「日本の子供たちは協働性が身についている」と言いたいところですが、コンピュータに制御された会話による測定で「タテマエ」的な正解を選ぶことと、実在の人物とリアルに協働できることは同じ、とは言いがたいです。

※実際の会話に「絶対的正解」があるわけではないですよ。また、質問紙調査で「(自分と)異なる意見について考えるのは楽しい」と感じている日本の生徒の割合は、各国に比べて極端に少ないこともわかっています。

ダイバーシティ(多様性)の社会において、**立場の違いを尊重し、建設的に意見を出し合う、または折り合いをつけることは極めて大切な資質・能力**です。

本校でも「**言葉で伝える**」ことを大切に、コミュニケーションスキルが高まるよう取り組んでまいります。